２０２２年信州産もちあわの栽培マニュアル

2022年3月

信州産ソルガム普及促進協会

**１．土壌について**

**Check! □ 　pH5.5～6.5の圃場が望ましい。**

推奨　石灰を使用される場合１０㌃あたり石灰60kg程度。肥料は10㌃あたり窒素3～

　　　5kg、リン7～8kg、カリ6kgを目安に使用してください。有機物があるとよく育

　　　ちます。生育が悪い時には中耕時に追肥してください。

　　　※肥料や石灰、堆肥は有機JAS対応のものをご使用ください。

**２．播種について**

推奨　畝間　60～90cmで条まきか、株間10cmをイメージし、５粒ずつ点まきを

　　　してください。

10㌃あたり600g～1㎏の種を使用します。

**Check！ □ 覆土は1cm～2cm、軽く鎮圧する。**

推奨　覆土が3cm以上になると発芽が悪くなり初期生育が低下するので丁寧にする。

補足　土が乾燥している時は下から水を吸い上げる為、覆土が浮かないよう上から圧をか

　　　けることで発芽率があがります。土が濡れている時は少なめの圧力で大丈夫です。

推奨　出芽揃い後２週間頃と、さらに２週間後の２回に分けて間引くのが理想。最終的に

　　　畦1mに30株程度を目安に。

推奨　気温、標高などで条件は変わりますが、北信の気候であれば５月中旬～６月中旬の

種まきを推奨します。

補足　確実に成熟期に到達させるため、遅霜に合わない範囲で早期播種が理想です。

**3.草刈りについて**

推奨　管理機で土寄せと除草を兼ねて対応するのが効率的なので畝間は使用する管理機の

サイズに合わせるのがオススメです。頻度としては２週間に一度が目安。

**4.収穫について**

**Check!　□　穂の緑が完全に消え黄化し、茎葉が黄変した頃に収穫する。**

**Check!　□　収穫は晴れた日に行ってください。前日も晴れた日が望ましいです。**

　　　　　濡れた状態での買い取りはできませんのでご注意お願い致します。

補足　モチキビのように脱粒することがないので慌てて刈り取る必要はありませんが、

　　　刈り取りが遅れると収量や品質が低下する場合があります。

推奨　収穫はソルガムと同じように穂先のみを刈り取ります。

補足　買取方法については別途ご案内いたします。

**５．保管**

**Check! □　風通しがよく、乾燥した場所にて保管する。**

**Check! □ ネズミ対策をおこなう。**

1. **その他 （遵守事項）**

**Check! □ あわの栽培について一切の農薬を使用しておりません。**

**Check! □ 小麦、蕎麦等のアレルギー表示対象品目の混入は一切ありません。**

**Check! □ カビ、アサガオの種等、有害物質の混入はありません。**

**Check! □ 他品種の混入がないよう管理しています。**